



HRA ビブリオバトル開催

開催日：6月28日（火曜日）7限

今年は対面で実施します。おススメの本を選んで準備をしましょう。

【目的】

- ・最近自分が読んだ本の中から特に心を動かされた本を一冊挙げ、その概要や魅力を紹介することで、自らの読書体験を振り返るとともに、表現力を高める。
- ・級友の「おすすめの本」の紹介を聞くことで、読書に対する意欲・関心を高める。

当日までにすること

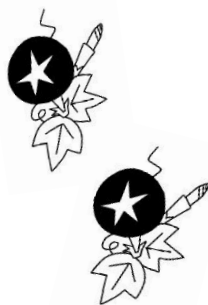
- ①本を準備する ②ワークシートに記入する
- ③5分のプレゼンテーションができるよう準備をする。（班の発表の時は3分）
- ④当日は紹介する本を忘れないように。



「ビブリオバトル」とは

「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチフレーズとし、自分が読んで面白かった本を持ち寄り、一番読みたくなった本を決める書評ゲームのこと。

発案者・谷口忠大氏によると『簡単に言えば「本の紹介ゲーム」だ。』



6月のこよみから

「本土復帰」50周年

太平洋戦争後、沖縄は27年間にわたりアメリカの統治下にあった。日本に戻ったのは1972年5月15日。「本土復帰」といわれる出来事で、今年50年を迎えた。

（newsがわかる 6月号）

今、沖縄は自然環境や文化、芸能で人気になり、観光立県として、多くの人々が沖縄を訪れている。しかし、沖縄が返還当時求めた「基地のない平和の島」の実現は遠く、いまだ多くのアメリカ軍基地が置かれている。

図書館には、沖縄についての資料がある。

一人でも多くの人々が資料を読み、知ることから始めよう。



6月23日 慰霊の日

太平洋戦争の末期の1945年4月、連合国軍の中心であったアメリカ軍が沖縄本島に上陸した。日本軍はアメリカ軍の本土攻撃を遅らせるため持久戦を展開し、以後3か月にわたり、沖縄は激しい地上戦の舞台になった。人口の4分の1に当たる12万人以上の住民が犠牲者となった。

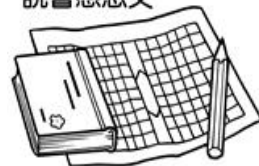
日本軍による組織的な戦闘は6月23日に終わった。

沖縄県ではこの日を「慰霊の日」と定め、毎年追悼式を行っている。



第68回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

読書感想文



【中学校の部】

『セカイを科学せよ!』 安田 夏菜著 講談社



転校生はとんでもない蟲オタク! 上がる悲鳴とため息と…。ミックスルーツの中学生が繰り広げる、バイオロジカルコメディ。

『海を見た日』

M・G・ヘネシー著 鈴木出版



同じ家で暮らしていても、心が通わない養母と里子4人。ある日の冒険をきっかけに、「本当の家族」になっていく。

『江戸のジャーナリスト 葛飾北斎』 千野 鏡子著 国土社



世界に誇る浮世絵師・葛飾北斎とは、どんな人物だったのか。ジャーナリストの著者独自の視点で、新たな北斎をあぶり出す。

*紹介文は書評を引用。

【高等学校の部】

『その扉をたたく音』 瀬尾 まいこ著 集英社



29歳、無職。夢はミュージシャン。人生に行き詰まっていた青年と、老人ホームで出会った「神様」との奇跡の夏が始まる。

『建築家になりたい君へ』 隈 研吾著 河出書房新社



「ぼろい家」に育ち、建築家を夢見てアフリカやアメリカへ。難題だらけの仕事にどう挑むのか。日本を代表する建築家が今伝えたいメッセージ。

『クジラの骨と僕らの未来』 中村 玄著 理論社



骨格に興味を持ち、ペットの墓暴きから始まった少年の好奇心。ついに哺乳類最大のクジラの研究者となる。クジラ博士になるまでの過程を生き生きと描く。

*紹介文は書評を引用。